

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

—— 創立指揮者 渡邊曉雄 ——

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

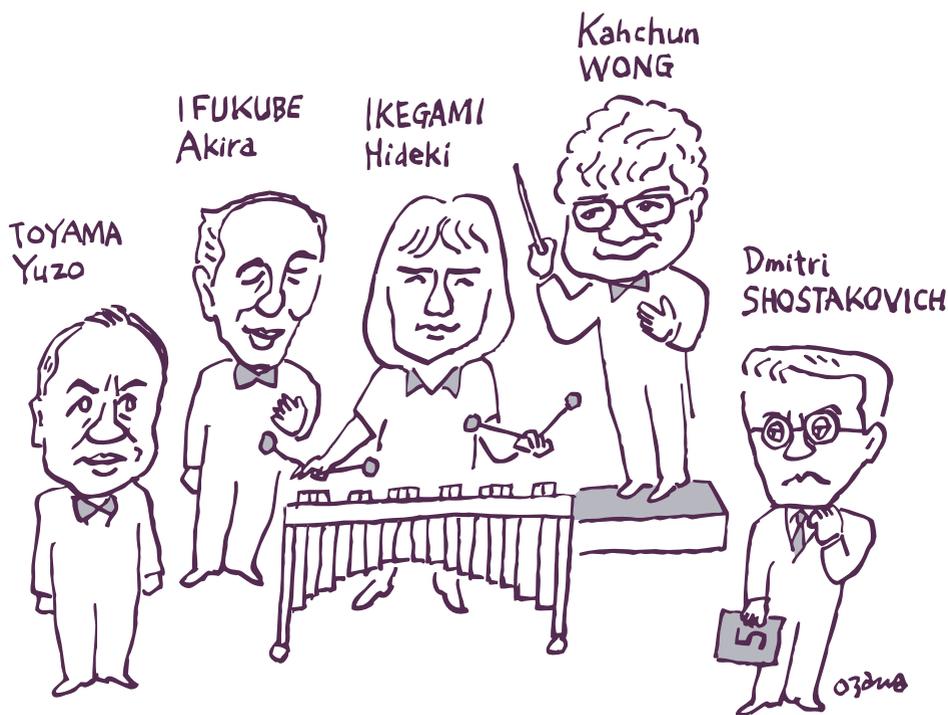
# SUBSCRIPTION CONCERTS

2023

12

DEC

第 756 回  
東京定期演奏会



サントリーホール  
2023年12月8日(金) 19:00  
12月9日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。  
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社  
**in 鹿島**

# C CONTENTS

目次



©Angie Kremer

❖ プログラム	4
❖ 出演者プロフィール	6
❖ プログラム・ノート- 藤田 崇文 -	8
❖ 写真プレイバック- 2023年10~11月 -	11
❖ 記者懇談会レポート	12
❖ カーチュン・ウォンこれからの演奏会	15
❖ あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	16
❖ 2024年春季セット券	17
❖ 感動の共有 ~ご支援のお願い~	20
❖ 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	21
❖ パトロネージュご芳名	26
❖ 春季 東京／横浜定期演奏会	28
❖ Member's TVU CHANNEL 配信一覧	30
❖ 第九特別演奏会2023	31
❖ 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー カーチュン・ウォン編	32
❖ インフォメーション	34
❖ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	35

# JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 756th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団  
第756回 東京定期演奏会

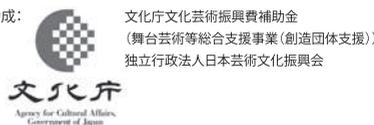


サントリーホール Suntory Hall

2023年12月8日(金)午後7時開演 / 9日(土)午後2時開演  
7:00p.m., Friday, 8th & 2:00p.m., Saturday, 9th December, 2023

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 後援: シンガポール共和国大使館  
協賛 / 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) 独立行政法人日本芸術文化振興会

表紙イラスト / 小澤 一雄



演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために 演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

## ■ 電源OFF

アラームOFF 電源OFF



## ■ 声と拍手にご注意を

私語 せき



## ■ 周囲にご配慮を

身を乗り 出さない つばの広い/ 高さのある帽子



## ■ 音にご注意を

ビニール袋 鉛の袋 マジックテープやファスナーの音 鈴などアクセサリーがいたストラップ 補聴器の音



## ■ 撮影禁止

録音禁止 録画禁止 写真撮影禁止



外山雄三: 交響詩《まつら》

TOYAMA Yuzo: Symphonic Poem "Matsura"

約14分

伊福部昭: オーケストラとマリンバのための  
《ラウダ・コンチェルタータ》

IFUKUBE Akira: LAUDA CONCERTATA per Orchestra e Marimba

約27分

休憩(15分) Intermission

ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番 二短調 op.47

Dmitri SHOSTAKOVICH: Symphony No.5 in D-minor, op.47

約44分

※当初発表の内容から変更になりました。

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]

Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

マリンバ: 池上 英樹

Marimba: IKEGAMI Hideki

コンサートマスター: 田野倉 雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇 大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

\*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。



## Conductor

指揮

### カーチュン・ウォン [首席指揮者]

Kahchun WONG, Chief Conductor

©Ayane Sato

日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者を務めるシンガポール出身のカーチュン・ウォンは、その舞台における圧倒的な存在感と東洋と西洋の芸術的遺産を探究し続ける思慮深さにおいて国際的に高く評価されている。2025年秋からはサー・マーク・エルダー氏の後任として、英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団の首席指揮者兼アーティストック・アドバイザーに就任することが決定している。

2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝。ニューヨーク・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする著名なオーケストラに客演。

ウォンは多くの現代作曲家と強い信頼関係を築いており、今シーズンはバービカン・センターでBBC交響楽団と共に細川俊夫の《祈る人》の英国

初演、およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者就任記念演奏会のために特別に委嘱された、タイの作曲家ナローン・プランチャルーンの《影の反映》の世界初演、また2022年には高名な導師でありインド人ヴァイオリニストであるカラ・ラムナスのために書かれた、レーナ・エスマイルの「ヒンドウスタンヴァイオリンのための協奏曲」をシアトル交響楽団演奏にて世界初演したほか、2019年にはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン（譚盾）の《火の儀式》の米国初演を指揮している。国内においては日本フィルハーモニー交響楽団とのサントリーホール定期公演シリーズにて伊福部昭、芥川也寸志、小山清茂、外山雄三らの作品を定期的に演奏している。2022年、東京オペラシティ財団の招聘により、武満徹の意欲的な作品《弧（アーク）》を中心とした管弦楽作品を集めた公演を大成功に導き、日本の主要批評家によってその年の最も優れた演奏会の一つに選ばれた。



## Marimba

マリンバ

### 池上 英樹

IKEGAMI Hideki

©Yuji\_Hori

8歳からドラムを始め、ジャズやロックのバンドで活動する。その後19歳でクラシック音楽と出会い、その世界に衝撃を受けてパーカッション、マリンバを学び始める。1997年よりパリ国立高等音楽院へ留学。第46回ミュンヘン国際音楽コンクール打楽器部門で最高位入賞。その後カールスルーエ音楽大学で学ぶ。第16回日本管打楽器コンクール第2位入賞、2005年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞など受賞を重ねる。世界各地のフェスティバル、現代音楽祭に招かれる。ヨーロッパ各地での演奏活動の後、活動を一時休止し、打楽器音楽を一から学び直す。著名なオペラ歌手、ピアニスト、ヴァイオリニストに教えを受け、ベルカント唱法を基盤にしたテクニックを打楽器に応用し、実践し始める。世界各国の音楽祭の他、富士山河口湖音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、東京・春・音楽祭、サントリーホールサマーフェスティバル、ロームミュージックフェスティバル等に出演し、東京都交響楽団、東京フィル

ハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演している。テレビ朝日『題名のない音楽会』で「パーカッショニスト・池上英樹登場!」などが放送される他、ドキュメンタリーや24時間テレビなどメディアへの出演も多い。その他、サントリー芸術財団25周年記念公演でクセナキス《オレスティア》の打楽器ソロを務める。マリンバでは、古今の名曲からジャズ、現代音楽に至るまで縦横無尽なレパートリーを持ち、東京・春・音楽祭にて全曲バッハプログラムで公演を行う。即興演奏、音楽するカラダと題したワークショップなどや、自身もフラメンコ舞踊を学び、常に新しい打楽器の可能性を模索している。2014年より打楽器を中心にダンスパフォーマンス、歌などを融合させた自作自演の舞台＜MOSAIC=モザイク＞を発表し始める。現在は山梨・河口湖町に移住し、唯一無二の世界観を追求する、日本を代表する打楽器奏者。

## プログラム・ノート 解説：藤田 崇文

### 混迷を深める現代において、オーケストラが放つメッセージ

新首席指揮者カーチン・ウォンが登場する2023年12月の東京定期演奏会は、桂冠指揮者アレクサンドル・ラザレフへの思いも込めショスタコーヴィチ交響曲第5番の演奏とともに、混迷を深める現代において、この曲が放つメッセージが届けられる。そしてコンサート冒頭には先日惜しくも逝去した外山雄三を追悼し、交響詩《まつら》を演奏。この曲は日本フィル恒例行事である九州公演に深くゆかりのある作品で、日本フィルにとっても大切な宝物のひとつであるといつてよいであろう。生前の外山の業績を振り返り、日本フィルから作曲家へ感謝の意を表し特別に演奏される。次に演奏されるのは伊福部昭のマリンバ協奏曲《ラウダ・コンチェルタータ》である。これまでも伊福部作品において名演を繰り広げてきたウォン&日本フィルの熱い演奏と注目されるマリンピスト池上英樹の共演に期待が高まる。

#### ■ 外山雄三：交響詩《まつら》

外山雄三(1931東京～2023長野)は、指揮者、作曲家として活躍し、NHK交響楽団正指揮者他、地方オーケストラの音楽監督を歴任し楽団運営にも力を注いだ。外山は東京芸術大学で下総統一に作曲を学び、代表作のひとつに日本民謡をモチーフにオーケストラ作品として作曲した《管弦楽のためのラブソディ》がある。日本各地に古くから受け継がれる民謡や祭囃子の音をオーケストラによって人々の心に鮮明に蘇る作品を遺し日本各地の美しい風景や賑わいを思わせる。そして、同じく日本的モチーフをオーケストラに取り入れた《まつら》は、玄界灘に面した城下町唐津の古称、松浦地方の音楽を表現している。夜明けを思わせる情景を冒頭に置き、「唐津くんち」の祭囃子を題材に祭りが最高潮に達する賑わいをオーケストラで表現し、当時日本フィル音楽監督であった渡邊暁雄の指揮で初演された。

この作品が生まれるまでの物語を少し

触れてみたい。外山は日本フィルにとっても大切な指揮者であり、作曲家である。外山が日本フィルを最初に指揮したのは1973年2月のこと。旧財団が前年に解散し楽団がもっとも苦しい時期と重なる。その後も楽団の活動に心を寄せ、1977年には《花を捧げる》を作曲し楽団との歴史を刻んできた。今回演奏される本作は佐賀県唐津市民の委嘱により交響詩《まつら》が生まれ、九州での公演を長年育てきた地域と初演の日本フィルとの文化交流の絆、作曲料に1人1口千円の募金活動で2000名が賛同した市民と作曲家との絆が深まった音楽作品であり、日本フィルにとっても大切な宝物の一つであるといつてよいであろう。

外山が1999年に日本フィルと地元唐津で再演した時のノートには『美しい海、限りなくやさしい人々……。その上に豊かに伝えられてきた民謡の数々。これだけ揃うと作者の責任は重くなるばかりである。日本フィルの外国旅行で、そして国内でも現在に至

るまでしばしば演奏されてきた。唐津の皆さんと日本フィルの苦労が実った、夢がかなったと言うべきだろうが、作者は、とんでもない幸運に恵まれたと思っている』と感謝の言葉が記されている。

なお、スコアは初稿から祭囃子の部分が6ページ挿入、32小節分追加され、1982年2月20日に作曲が完成。3月1日初演の数日前

#### ■ 伊福部昭：オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルタータ》

伊福部昭(1914北海道～2006東京)は、作曲家、音楽教育者として活躍し、作曲を独学で学んだ。「ゴジラの音楽」は広い世代に知られており、ゴジラの作曲をはじめとする300作の映画音楽は根強いファンに支持されている。伊福部音楽の特徴は「オスティナート(繰り返しの演奏法)」である。「ゴジラ」もそうであるように、延々と続く押しの強い音楽と様々な楽器を重ね合わせるオーケストレーションは土俗的かつ力強い高揚感を持ち合わせる。そのオスティナートは《ラウダ・コンチェルタータ》にも当然のごとく取り入れられ、特にクライマックスに向かうにつれ、マリンバの激しい打法と動き、大胆なオーケストラの響きを存分に味わうことができる。

この曲は1978年平岡養一の木琴演奏活動50周年記念の為に書かれた木琴と管絃楽の作品であったが演奏されないまま、マリンバソロ用に加筆され、1979年山田一雄指揮、新星日本交響楽団(現・東京フィル)にて安倍圭子との共演により初演された作品が現在の《ラウダ・コンチェルタータ》である。平岡が使用したシロフォン(木琴)は米・ディーガン社製最低音F(ファ)から最高音C(ド)の3オクターブ半音域で伊福部もソロパートを最低音Fまで使用した。その後、マリンバ用に1オクターブ低音域を増やし4本バチでの演奏スタイルへ拡大した。

に宮崎のホテルで渡邊暁雄にスコアが手渡されている。

(1982年3月1日初演・佐賀県唐津)

楽器編成：ピッコロ1、フルート2(ピッコロ持替2)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、トライアングル、グロッケンシュピール、チャンチキ、弦楽5部。

伊福部は初演時の説明に『ゆるやかな、頌歌風な楽案は主として管絃楽が受け持ち、マリンバは、その本来の姿である打楽器的な、ときに野蛮にも近い取扱いがなされています。この互に異なる二つの要素を組み合わせることを、いわば、祈りと饗性との共存を通して、原始的な人間性の喚起を試みたのです』と語っている。デュッサンには[LAUDA ANTICA、古代の頌歌、シャーマン頌歌、Ode of Shaman、shamanism]などタイトルメモが残され、北方・ユーラシア古代のシャーマニズムという民族的・宗教的・霊的知恵を意識した世界観が流れてくる。

近年、日本管打楽器コンクールマリンバ部門においてラウダが本選曲となりマリンバ奏者の登竜門曲としても愛されている。なお、ラウダのデュッサン92枚を含める他曲の直筆譜・楽譜等1300点は伊福部が学長を務めた東京音楽大学に保管され、附属図書館から伊福部昭デジタルアーカイブと所蔵目録(OPAC)の公開が始まっている。

(1979年9月12日初演・東京)

楽器編成：独奏マリンバ、ピッコロ1、フルート1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、トムトム、ティンパレス、ハーブ、弦楽5部。

## ■ ショスタコーヴィチ:交響曲第5番 二短調 op.47

ドミートリイ・ショスタコーヴィチ(1906  
 サクトペテルブルク~1975モスクワ)は  
 ソビエト連邦(現ロシア)の作曲家でサン  
 クトペテルブルク音楽院にて作曲をマクシ  
 ミリアン・シテインベルクに学んだ。音楽院  
 時代、父親の死により経済的困難に陥った  
 が、自らのアルバイト、音楽院院長アレク  
 サンドル・グラズノフの強力な援助もあっ  
 て勉学を続けピアノ科と作曲科を卒業し  
 ている。生涯で15作の交響曲を遺し、その  
 中でも「第5番」は演奏機会が多く、1937年  
 の初演はエフゲニー・ムラヴィンスキー指  
 揮、レニングラードフィルによって大成功  
 を収めた。

ショスタコーヴィチは芸術音楽における  
 20世紀最大の作曲家のひとりと称され、作  
 曲家としての地位を確立させた時期と作  
 品は、1934年に初演された、オペラ《ム  
 ツェンスク郡のマクベス夫人》であった。レ  
 ニングラードとモスクワで大成功を収め、  
 翌年以降はクリーブランド、ニューヨーク、  
 コペンハーゲン、チューリヒと諸外国都市  
 でも上演され、作曲家としても市民権を得  
 ていく。ところが、1936年1月28日のソビエ  
 ト共産党機関誌《プラウダ(Pravda)》に『支  
 離滅裂で音楽ではない』という論評にはじ  
 まり、オペラや作曲姿勢を攻撃され、創作  
 意欲や活動にも多くの制約をもたらした。  
 交響曲第4番は練習途中で初演を取り  
 止め、作曲の筆もしばらく休めた。この悲  
 劇的時期にショスタコーヴィチを奮い立  
 たせ、1937年4月18日から7月20日までの3  
 カ月間に一気に筆を走らせた作品が交響  
 曲第5番である。名誉も回復する作品と  
 なった。

交響曲第5番の印象を指揮者カーチュン・

ウォンが日本フィルのインタビューに対し  
 単刀直入に答えており興味深いので紹介  
 したい。『第1楽章の幕切れのチェレスタの  
 響きは鳥肌が立つほど恐ろしく、第2楽章  
 の皮肉に満ちたスケルツォは、誰かに銃を  
 向けられ無理矢理踊らされているかのよう  
 です。第3楽章の果てしない孤独では、クラ  
 リネットの金切り声人間的なテクスチャ  
 を作り出します。第4楽章のクライマックス  
 はまるで人間の頭に釘を打ち付けながら、  
 白いものを黒と言わせているかのようで  
 す』と語っている。

特に第4楽章の主題(旋律)は単調に始  
 まり、クライマックスは同主題が長調へと、  
 勝利への音楽と導かれるかのようである。  
 現実の矛盾に直面しながら誠実に創作活  
 動を続けたショスタコーヴィチ、そして悲  
 劇的時期に遺した交響曲第5番は、混迷を  
 深める現代においても、この曲が放つメッ  
 セージとともに聴く人の心に深く刻まれる  
 であろう。

(1937年11月21日初演・レニングラード)

楽器編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、E♭管  
 クラリネット1、クラリネット2、ファゴット2、コントラ  
 ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン  
 2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、  
 大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、シロ  
 フォン、銅鑼、グロッケンシュピール、ハープ2、ピア  
 ノ1(チェレスタ弾替1)、弦楽5部。



PHOTO 1 10月4日オーケストラ・キャラバンin小山  
 初めての小山公演は、大井剛史さんの指揮の  
 もと、前半は小川葉奈さんの透き通った歌声、  
 後半はブラームスでオーケストラの醍醐味を  
 お楽しみいただきました。チーム栃木として、指  
 揮大井さん、小川さん、ホルン信末と宇田によ  
 る楽しい地元トークも。



PHOTO 2 10月8日UBEクラシックコンサート  
 16回目となった宇部公演。今年はフレンド・  
 オブ・IPOの広上淳一とヴァイオリニスト荒井里  
 桜さんと共に、ヴァイオリンの名曲とベートー  
 ヴェンの交響曲第5番《運命》をお届けいたしま  
 した。



PHOTO 3 10月13日、14日東京定期演奏会\*  
 カーチュン・ウォンの首席指揮者就任披露演  
 奏会でした。渾身のマラー交響曲第3番を  
 お届けいたしました。お問い合わせも頂きま  
 したが、今回は7人のシンバリストによる饗宴  
 でした。



PHOTO 4 10月18日横浜アンサンブル・ワンダーランド  
 第1部がコンサート、第2部がトークという楽員  
 の魅力が存分に発揮された室内楽公演。スペ  
 シャルゲストの佐藤晴真さんと日本フィル・メン  
 バー杉原由希子、伊藤太郎、末廣紗弓、小中澤  
 基道でパンジャリ。



PHOTO 5 10月21日横浜定期演奏会\*、22日名曲コン  
 サート  
 完売御礼が続いた2公演。首席指揮者カーチュ  
 ン・ウォンとピアニスト亀井聖矢さんと共にショ  
 パンのピアノ協奏曲第1番とブラームスの交響  
 曲第1番をお届けいたしました。



PHOTO 6 11月3日、4日東京定期演奏会\*  
 小林マエストロとのカルミナ・ブラーナ!東京音  
 楽大学の皆様はの迫力ある合唱、ソリストの澤江  
 衣里さん、高橋淳さん、萩原潤さんの素晴らしい  
 独唱をお届けしました。合唱指導の浅井隆に  
 さんを交えて、終演後に記念写真。

\*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。  
<https://members.tvuch.com>



## 記者懇談会レポート

2023年10月13日、アークヒルズクラブにて記者懇談会を行いました。多くの音楽・報道関係者の皆様にお集まりいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。記者懇談会の内容をご報告いたします。

\*登壇者 カーチュン・ウォン(首席指揮者) 平井 俊邦(理事長) 益満 行裕(企画広報本部長・企画制作部長)

### 首席指揮者就任から今後の活動 益満行裕(企画制作部長)

古典から現代に至るまで、カーチュン・ウォンの指揮は、印刷された音符を立体化させた作品の持つドラマや形式すらも明確に描き出し、「クラシック」の価値を博物館的に押し込めるのではなく、現代にも通じ得るものとして明示してくれます。我々にとって「最初のマーラー」となった第5番の演奏も、その意味でまさに衝撃的な門出でした。

今後は、2026年の創立70周年を念頭に、順次彼の音楽的ルーツであるマーラー、そこにブルックナーが加わり、アジアツアーも計画しております。

また、カーチュン・ウォンと日本フィルならではの視点と言える“Folksong”に着目したユニークなレパートリー、アジアの作品へ取り組みは、より一層深みを増してまいります。ウォン氏の探究心は並々ならぬものがあり、日本人である我々でも知らない作品が、次々と彼の口から出てくるのは、悔しいながらも圧巻です。マエストロは先日開示された東京音楽大学所蔵の作曲家伊福部昭の研究資料も早々に閲覧しに行ったそうです。指揮台の華やかさを裏支えるこういった研究熱心なところも尊敬に値します。

このようにカーチュン・ウォンと日本フィルは、これまでの偉大な先達たちと築き上げてきた路線を継承しつつも、新たな個性と音楽性を創造すべく今までにない音楽の場を提供してまいります。



©山口 敬



©山口 敬

### 首席指揮者カーチュン・ウォン ごあいさつ

私は今、JPOの楽員たちとの仕事をとても楽しんでいます。初日のリハーサルというのは、1番大変な1日で、必ず頭の中でこれとこれをやろうとチェックリストを作ります。ですがJPOの皆とリハーサルを始めると、すぐに、あ、1つ目はもう大丈夫。2つ目も素晴らしいからこのままでOK、と、驚くほど優秀だと感心してしまいます。本当に最近は良き音楽的なパートナーという信頼関係も感じられてきています。

私が育ったシンガポールは、平等、多様化、そしてインクルージョン\*、そういうことを大切にしている国です。5分も行けばモスク、カトリックの教会、ヒンドゥー教の寺院等があり、色々な宗教が混じっている場所でした。日本に来た時には日本の文化に大きなインスピレーションを受けました。その中でも伊福部昭の作品に携わることができ、そしてこれから伊福部のような作曲家の作品を、海外で演奏することができるようになったということ、とても嬉しく思っています。来年、私が首席客演指揮者を務めるドレスデン・フィルでシンフォニア・タブカーラを演奏することになりました。私はドレスデンの方たちと伊福部の楽譜を借りるのはどうか、JPOに電話してみてもどうか、と話しています。今までは西洋の最高のものを日本に取り入れていたのが、我々は今、最高の日本の文化を世界のクラシック業界の方々と分かち合えるのです。このような機会を私に与えくださり本当にありがとうございます。

\*インクルージョン:個々の異なる属性が受け入れられ、互いに尊重されている状態

### 質疑応答

#### —世界において伊福部の音楽が持つ意味というものがあるとしたら？

私が曲を取り上げる時には、単純に音楽が好きかそうでないかだけで選んでいるところがあります。さらにこの作品に対して私が一番適している指揮者かどうか、ということも考えます。例えばモーツァルトのレクイエムやヴェルディのリゴレットなどは大好きで、もう自分の頭の中には入っています。ですが指揮をするかとなると、多分しないでしょう。私よりもそれに適している指揮者たちが大勢他にいるからです。同じことが伊福部にも言えると思います。ゴジラももちろん有名ですが、私は彼の人生、戦争やアイヌの関係、オスティナートリズムなどから非常に興味を持ち、彼の作品に着目しました。日本人作曲家のプロジェクトはまだ始まりの第1歩です。これから他の日本人の作曲家、例えば細川俊夫、諸井三郎などもまだまだ研究し、音楽学的にも調べていき、専門家のアドバイスもいただければと考えています。

ークラシック音楽をやる上で、非ヨーロッパ文化圏出身の人間ということ、意識をされていますか？違いがあるとしたら、それはどういうところがあると思われますか？

私は、人のバックグラウンドが違うということは、大きな意味で全て人間が違うことと同じだと思っています。例えばドイツ人2人の指揮者でも、日本人の指揮者2人をとっても全然個性が違います。ベルリンでは、君は初めてドイツで勉強するシンガポール人だとか、初めてベルリンで指揮を勉強するシンガポール人だ、などと言われてきました。

マイノリティなことは理解していますが、私は自分がいる場所でできるだけのことを学び、そして吸収しようと常に思っています。私が大きな勇気をもらったのは、マーラー・コンクールです。第1回目の優勝者はグスターボ・ドゥダメル、彼は非ヨーロッパ圏のベネスエラ出身です。そして2回目の優勝者がラハフ・シャニ、彼はイスラエル出身。彼らのブラームス、マーラーは素晴らしいです。名作の力というのは、その立地条件とか宗教、政治、そういうものを全て超越すると私は思います。

#### 一日本人作曲家が生み出す音楽の魅力とは？

先ほどと似た答えになりますが、各作曲家というのはそれぞれ異なる人たちだと思っています。私は若い頃作曲を勉強していましたので、どのような構成なのか、どうやって組み合わせているのか、構造を考えるのがとても好きです。日本人作曲家たちがどのような形でこの音楽を作っているのかに興味があり、決して日本人の曲だから演奏したいというような考えではありません。この曲をどうしても演奏しなければいけないと私自身が感じてしまうのです。日本は私にとって非常に大きなインスピレーションを与えてくれる国です。アジアの中でも西洋の文化を大々的に取り入れた、初期の国で、西洋音楽も本当に自分のものとして取り入れています。決してものまねではありません。伊福部、武満、彼らはそれを見事にされた作曲家ではないかと思えます。私はアジア、しかも東南アジアの若い国の出身で、クラシック音楽をまだ取り入れてから年月が浅い。日本が西洋音楽をどのように発展させてきたかは、私が自国に戻った時にも大きなヒントになるのではないかと思います。



#### 第394回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール

2024年 1月20日(土) 17:00 開演

#### 第403回名曲コンサート サントリーホール

2024年 1月21日(日) 14:00 開演

ピアノ:上原 彩子  
伊福部昭:舞踊曲《サロメ》より「7つのヴェールの踊り」  
ラフマニノフ:バガニーニの主題による狂詩曲 ベルリオーズ:幻想交響曲

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 (1/20完売)  
Gs (65歳以上) ¥5,000 (1/21のみ) Ys (25歳以下) ¥1,500

#### 第757回東京定期演奏会 サントリーホール

2024年 1月26日(金) 19:00 開演 27日(土) 14:00 開演

ピアノ:児玉 麻里、児玉 桃\*  
チナリー・ウン:グランド・スパイラル コリン・マクフィー:タブー・タブーアン\*  
ブーランク:2台のピアノのための協奏曲\* ドビュッシー:交響詩《海》

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

#### 第760回東京定期演奏会 サントリーホール

2024年 5月10日(金) 19:00 開演 11日(土) 14:00 開演

マーラー:交響曲第9番

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2023年  
12月14日(木)  
発売

#### 特別演奏会 昭和女子大学人見記念講堂

2024年 5月25日(土) 14:00 開演

1回券料金 S ¥6,000 A ¥4,500 B ¥3,500 Gs (65歳以上) ¥3,500 Ys (25歳以下) ¥1,500

2024年  
2月14日(水)  
発売

#### 第404回名曲コンサート サントリーホール

2024年 5月26日(日) 14:00 開演

ピアノ:小菅 優  
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第5番

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000  
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

#### 第255回芸劇シリーズ 東京芸術劇場

2024年 6月2日(日) 14:00 開演

坂本龍一:地中海のテーマ 他

1回券料金 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000  
Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2024年  
2月14日(水)  
発売

# 第47回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2024

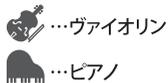
指揮:下野 竜也 ピアノ:小山 実稚恵 ヴァイオリン:服部 百音



©Naoya Yamaguchi



©Hiromichi Uchida



2024年2月10日(土) 15:00	北九州ソレイユホール	
2024年2月11日(日) 14:00	大牟田文化会館大ホール	
2024年2月12日(月) 14:00	アクロス福岡シンフォニーホール	
2024年2月14日(水) 19:00	市民会館シアーズホーム夢ホール	
2024年2月15日(木) 18:30	宝山ホール(鹿児島県文化センター)	
2024年2月17日(土) 14:00	宮崎市民文化ホール	
2024年2月18日(日) 14:00	ビーコンプラザ フィルハーモニアホール	
2024年2月20日(火) 19:00	佐賀市文化会館大ホール	
2024年2月21日(水) 18:30	アルカスSASEBO大ホール	

## 【プログラム】

モーツァルト: 歌劇《皇帝ティートの慈悲》序曲(北九州、大牟田、熊本、鹿児島、大分、佐賀)

モーツァルト: 歌劇《イドメネオ》序曲(福岡、宮崎、長崎)

モーツァルト: ピアノ協奏曲第20番(福岡、宮崎、長崎)

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲(北九州、大牟田、熊本、鹿児島、大分、佐賀)

ベルリオーズ: 幻想交響曲(北九州、熊本、鹿児島、佐賀)

ドヴォルジャーク: 交響曲第8番(大牟田、福岡、宮崎、大分、長崎)

## 下野竜也よりメッセージ

いつも冬にやって来る日本フィルが、渡邊暁雄、外山雄三、小林研一郎という偉大な巨匠達と毎回完全燃焼というべき演奏を届けて下さった事は、今でも心に刻まれている素敵な思い出です。それが、九州各地の実行委員会の皆さまのご尽力と日本フィルとの深い絆によって続けてこられたという事を知るのはもっと後のことでした。その大切な九州公演に再びお迎え頂くことに感謝申し上げます。

# 2024年 春季3公演セット券

S席セット ¥15,000 A席セット ¥12,000

好評  
販売中

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

## 第254回芸劇シリーズ

東京芸術劇場

2024年 4月28日(日) 14:00 開演

指揮・ピアノ:横山 幸雄

ショパン:《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲

ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ

ショパン:ピアノ協奏曲第2番



©ZIGEN

1回券  
料金 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000  
Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2024年  
1月19日(金) 発売

## 第404回名曲コンサート

サントリーホール

2024年 5月26日(日) 14:00 開演

指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者]

ピアノ:小菅 優

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番

チャイコフスキー:交響曲第5番



©Ayane Sato



©Takehiro Goto

1回券  
料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000  
Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2024年  
2月14日(木) 発売

## 第255回芸劇シリーズ

東京芸術劇場

2024年 6月2日(日) 14:00 開演

指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者]

坂本龍一:地中海のテーマ 他



©Ayane Sato

1回券  
料金 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000  
Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2024年  
2月14日(木) 発売

お申込みは日本フィル・サービスセンターへ! TEL:03-5378-5911(平日10時-17時)



# &



あれもこれも、  
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。  
経済と文化。住む人と働く人。  
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。  
私たち三井不動産は、  
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、  
イノベーションや挑戦、  
驚きや希望や愛といった、  
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。  
そして街に集う人たちと一緒に、  
その先の日常をつかっていきたい。  
街は人とともに。  
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

 **三井不動産**  
MITSUI FUDOSAN



最高級のアコースティックを誇る



# 杉並公会堂

Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、  
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂  
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より  
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15  
Tel: 03-3220-0401  
<http://www.suginamikoukaidou.com/>  
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、  
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人が繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団  
理事長 平井 俊邦

#### ■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を  
メール [donation@japanphil.or.jp](mailto:donation@japanphil.or.jp) まで  
お知らせください。

#### 【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)  
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

#### ■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから  
クレジットカードによりご寄付いただけます。

右のQRコードから  
ご寄付のサイトを  
ご覧いただけます。

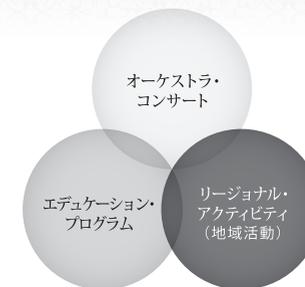


ご寄付をいただきました方には、  
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

# 感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

## 文化の発信

日本フィルは、  
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》  
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》  
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる  
《リージョナル・アクティビティ》という  
三つの柱で活動を行い、  
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

パトロネージュ 金子 清 千葉県 / 佐藤 正知 東京都 / 島田 英繁 神奈川県 / 深見 敏正 東京都  
増井 俊之 神奈川県 / 森田 大輔 神奈川県 / 森田 ハルヨ 東京都

### 日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

### パトロネージュ [個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。  
年会費: 3万円 / 5万円 / 12万円 / 20万円 / 50万円 / 100万円

### 日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、  
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。  
年会費: 1万円

### 特別会員 [法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

### 遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ: 日本フィル事務所 TEL03-5378-6311 (10-18時、土日祝日休)

# 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス 代表取締役社長 船越 真樹	岡三証券株式会社 小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕	京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏	全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健	株式会社ONODERA GROUP 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司	株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛	第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫	公益財団法人オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦	株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明	株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静	株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介	コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和	大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大	株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介	株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸	大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和	鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一	株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫	大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
株式会社アドービジネスコンサルタント 代表取締役社長 池田 昭司	鹿島建物総合管理株式会社 代表取締役社長 山本 和雄	コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄	大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
イソソリューションズ株式会社 代表取締役社長 佐々木経世	鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信	株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎	高砂熱学工業株式会社 代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫	株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎	株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦	千歳コーポレーション株式会社 取締役社長 森岡 寛司
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一	株式会社歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正	佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一	千代田化工建設株式会社 代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一	株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂	三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一	株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎	社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文	山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大	塚本総業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
株式会社インフォーマート 代表取締役社長 中島 健	川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長 新浪 剛史	ディアンドデパートメント株式会社 代表 ナガオカケンメイ
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇	北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕	三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸	DM三井製糖株式会社
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行	キッコーマン株式会社 代表取締役社長CEO 中野祥三郎	ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博	学校法人帝京大学 理事長 沖永 佳史
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二	キヤノン株式会社 代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫	ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志	株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代
株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美	キューピー株式会社 代表取締役 社長執行役員 高宮 満	株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三	THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏	株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂	澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利	株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 樽谷 典洋
株式会社エイブル&パートナーズ 代表取締役会長兼社長 佐藤 茂	キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長 磯崎 功典	株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎	東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社エヌエフホールディングス 代表取締役会長 高橋 常夫	株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇	清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸	株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔	株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次	株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一	東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長 広瀬 伸一
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃	グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和	株式会社シェルター 代表取締役会長 木村 一義	株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一	京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎	ショーボンドホールディングス株式会社 代表取締役社長 岸本 達也	東京都杉並区 区長 岸本 聡子
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治	株式会社京王設備サービス 取締役社長 梁瀬 哲夫	株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮	東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一	京王電鉄株式会社 代表取締役社長社長執行役員 都村 智史	株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹	東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎		杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健	戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則
		住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦	
		株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之	

学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎  
 株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司  
 株式会社永谷園ホールディングス  
 代表取締役会長 永谷栄一郎  
 株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一  
 日総工産株式会社  
 代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一  
 日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩  
 株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行  
 日本精工株式会社  
 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊  
 日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二  
 日本電子株式会社  
 代表取締役会長 兼 取締役会議長 栗原権右衛門  
 日本パーカラライジング株式会社  
 株式会社ネイチャーズウェイ  
 代表取締役社長 萩原 吉晃  
 根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子  
 パイオニア株式会社  
 代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗  
 ハウス食品グループ本社株式会社  
 代表取締役社長 浦上 博史  
 株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸  
 ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎  
 パンパシフィック・カップパー株式会社  
 代表取締役社長 堀 一浩  
 阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一  
 東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹  
 非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸  
 ひびき・パース・アドバイザーズ  
 代表取締役社長 清水 雄也  
 株式会社ファミーユ 代表取締役 新庄真帆子

富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映  
 富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎  
 富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一  
 一般財団法人 藤本育英財団  
 古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真  
 合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子  
 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
 ホッカンホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 池田 孝資  
 株式会社ポニーキャニオン  
 代表取締役社長 吉村 隆  
 本田技研工業株式会社  
 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏  
 株式会社牧野フライス製作所  
 取締役社長 宮崎正太郎  
 マネックスグループ株式会社  
 代表執行役社長CEO 清明 祐子  
 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩  
 株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博  
 丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎  
 株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕  
 三井倉庫ホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 古賀 博文  
 三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信  
 株式会社三越伊勢丹AIMファシリティーズ  
 代表取締役会長 飯嶋 庸夫  
 株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
 特別顧問 石塚 邦雄  
 三菱HCキャピタル株式会社  
 代表取締役 社長執行役員 久井 大樹  
 三菱オートリース株式会社  
 代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志  
 三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤  
 三菱自動車工業株式会社  
 取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄  
 三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次  
 三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅  
 株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一  
 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社  
 取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真  
 武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通  
 明治安田生命保険相互会社  
 取締役代表執行役社長 永島 英器  
 株式会社明和住販流通センター  
 代表取締役 塩見 紀昭  
 メッドサポートシステムズ株式会社  
 代表取締役 谷川ひとみ  
 株式会社メディアグラフィックス  
 代表取締役社長 我妻まどか  
 株式会社メルコホールディングス  
 代表取締役社長 牧 寛之  
 森社会保険労務士事務所 所長 森 康之  
 株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也  
 山崎製パン株式会社  
 UBE株式会社 取締役会長 山本 謙  
 ユウキフーズシステム株式会社  
 代表取締役社長 田中 秀和  
 横河電機株式会社  
 米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介  
 リガク・ホールディングス株式会社  
 代表取締役社長 川上 潤  
 株式会社リョーサン  
 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広  
 株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也  
 ローム株式会社  
 代表取締役社長 社長執行役員 松本 功  
 匿名5名

(2023年12月1日現在・50音順・敬称略)

# パトネージュご芳名

会田 雅美 東京都  
 明樹 重次 東京都  
 浅野 純英 東京都  
 朝吹 理郎 東京都  
 厚田 俊彰 神奈川県  
 阿部 昇 東京都  
 荒井 秀隆 東京都  
 荒木 康一郎 東京都  
 荒時 純子 神奈川県  
 有江 千麻 埼玉県  
 有手 祐一郎 東京都  
 安西 光一 東京都  
 安藤 桂子 東京都  
 飯田 恵司 東京都  
 飯田 憲茂 東京都  
 家近 信子 東京都  
 家近 重雄 東京都  
 五十嵐 慧博 東京都  
 池浦 隆光 東京都  
 池田 光司 東京都  
 池谷 建志 東京都  
 伊佐山 卓志 千葉県  
 石澤 邦雄 東京都  
 石塚 寿恵 東京都  
 石津 秀雄 神奈川県  
 石橋 貴博 東京都  
 伊藤 好彦 東京都  
 伊藤 俊信 埼玉県  
 井上 直人 東京都  
 井上 浩良 神奈川県  
 岩瀬 達明 静岡県  
 岩田 悦子 東京都  
 上野 陽子 東京都  
 植村 昭三 神奈川県  
 宇賀神 裕子 東京都  
 白井 潤彦 神奈川県  
 内村 恒彦 神奈川県  
 江口 麗子 東京都  
 大上 三雄 東京都  
 大久保 昇 神奈川県  
 大島 剛 埼玉県  
 大竹 広明 神奈川県  
 太田 五郎 神奈川県  
 太田 達男 千葉県  
 大塚 宣夫 東京都

大藤 裕康 埼玉県  
 森太 晋 東京都  
 岡本 尚子 東京都  
 岡田 雅史 東京都  
 奥田 群司 神奈川県  
 尾澤 弘久 神奈川県  
 尾上 洋子 東京都  
 小野 けい子 東京都  
 小野 寺健一 東京都  
 小幡 尚孝 東京都  
 折田 昌子 東京都  
 間沙 織裕三 神奈川県  
 風澤 英裕 東京都  
 賀島 重二 東京都  
 鹿島 英二 東京都  
 片貝 史子 東京都  
 片山 桂 東京都  
 加藤 壹康 静岡県  
 加藤 丈夫 東京都  
 加藤 ひろみ 東京都  
 加藤 洋一 東京都  
 加藤 頼宣 東京都  
 金子 修清 埼玉県  
 金子 肇 千葉県  
 上條 貞夫 東京都  
 上條 淑子 東京都  
 香山 孝一 神奈川県  
 川畑 義宏 東京都  
 河田 治幸 神奈川県  
 菅野 和美 東京都  
 喜多 久江 東京都  
 北村 篤嗣 埼玉県  
 北村 恵司 神奈川県  
 桐本 明子 東京都  
 草刈 隆郎 東京都  
 久野 哲男 千葉県  
 熊谷 朝子 東京都  
 倉谷 宏樹 東京都  
 栗原 真知子 埼玉県  
 畔柳 信雄 東京都  
 甲賀 一宏 埼玉県  
 好士 稔子 東京都  
 胡口 靖夫 東京都

小林 和夫 東京都  
 小林 裕美 東京都  
 小林 容子 東京都  
 見俊彦 東京都  
 五井 康伸 神奈川県  
 酒井 英俊 東京都  
 卷哲 武男 東京都  
 定形 寛正 東京都  
 佐藤 昭知 東京都  
 佐藤 正知 東京都  
 座間 淑一 神奈川県  
 澤井 精一 東京都  
 島田 晴雄 東京都  
 島田 幸繁 神奈川県  
 清水 美知子 東京都  
 下河辺 英一 東京都  
 下田 貴司 千葉県  
 新庄 真知子 大阪府  
 晋友会 合唱団 東京都  
 須賀 克敏 神奈川県  
 菅 千太郎 東京都  
 杉山 秀子 東京都  
 杉山 浩明 東京都  
 杉山 祐二 東京都  
 鈴木 兼英 東京都  
 尾野 糸子 東京都  
 尾石 厚毅 東京都  
 仙田 神子 千葉県  
 宗 郁郎 大分県  
 梁野 幸徳 東京都  
 空井 幸徳 神奈川県  
 高木 宏忠 東京都  
 高須 幸雄 東京都  
 高田 信喜 東京都  
 高橋 信喜 東京都  
 武岡 哲郎 東京都  
 竹中 富知男 東京都  
 中稀 一郎 東京都  
 田仲 博幸 東京都  
 田中 将介 神奈川県  
 田辺 三基男 東京都

田村 一章 梨県  
 田村 浩和 東京都  
 塚本 雅夫 東京都  
 辻 厚仲 東京都  
 井田 久 東京都  
 津石 博之 東京都  
 常石 峻一 東京都  
 角田 孝一 東京都  
 積田 佳代 東京都  
 寺澤 佳代 東京都  
 東京 フロイデ合唱団 東京都  
 東瀬 朗 新潟県  
 時枝 直満 東京都  
 徳田 雄三 東京都  
 外山 誠利 東京都  
 中尾 ナガオカケンメイ 東京都  
 中島 奈穂 東京都  
 中島 美知子 東京都  
 長瀬 雅則 東京都  
 中園 和博 東京都  
 仲田 喜義 東京都  
 中西 泉 東京都  
 永野 琢夫 東京都  
 中村 公一 東京都  
 中村 禎良 東京都  
 那須 雄治 東京都  
 須年 綾介 東京都  
 新倉 啓子 東京都  
 西澤 敬子 京都府  
 西村 醇子 神奈川県  
 日本 フィルハーモニー 東京都  
 協会 所沢支部 埼玉県  
 二村 英之 東京都  
 布村 清美 東京都  
 沼村 直之 千葉県  
 根本 文昭 東京都  
 野谷 一彦 千葉県  
 箱崎 純尚 東京都  
 濱田 尚人 東京都  
 原 俊男 千葉県  
 針谷 博史 静岡県  
 日高 好男 東京都  
 平井 邦子 神奈川県

山梨 邦夫 梨県  
 東京 直哉 東京都  
 神奈川 勝貞 神奈川県  
 大分 晴子 大分県  
 神奈川 実敏 神奈川県  
 神奈川 正次 神奈川県  
 東京 英次 東京都  
 東京 昭夫 東京都  
 東京 裕一 東京都  
 東京 薫 東京都  
 東京 紀子 東京都  
 東京 真也 東京都  
 東京 明弘 東京都  
 東京 桂太朗 東京都  
 神奈川 耿史 神奈川県  
 千葉 一郎 千葉県  
 千葉 澄夫 千葉県  
 東京 信汎 東京都  
 神奈川 俊之 神奈川県  
 神奈川 文彦 神奈川県  
 東京 護美 東京都  
 東京 美希 東京都  
 東京 信義 東京都  
 東京 千代 東京都  
 神奈川 惠美子 神奈川県  
 東京 繁光 東京都  
 東京 茂之 東京都  
 兵庫 裕二 兵庫県  
 埼玉 純子 埼玉県  
 東京 美太郎 東京都  
 東京 泰司 東京都  
 神奈川 徹司 神奈川県  
 神奈川 稔樹 神奈川県  
 神奈川 宏之 神奈川県  
 神奈川 智之 神奈川県  
 東京 三郎 東京都  
 山梨 敏和 山梨県  
 千葉 俊紀 千葉県  
 東京 剛彦 東京都  
 東京 幸仁 東京都  
 東京 栄達 東京都  
 長崎 達之 長崎県  
 山口 みどり 山口県

神奈川 邦夫 神奈川県  
 神奈川 直哉 神奈川県  
 神奈川 勝貞 神奈川県  
 神奈川 晴子 神奈川県  
 神奈川 実敏 神奈川県  
 神奈川 正次 神奈川県  
 神奈川 英次 神奈川県  
 神奈川 昭夫 神奈川県  
 神奈川 裕一 神奈川県  
 神奈川 薫 神奈川県  
 神奈川 紀子 神奈川県  
 神奈川 真也 神奈川県  
 神奈川 明弘 神奈川県  
 神奈川 桂太朗 神奈川県  
 神奈川 耿史 神奈川県  
 神奈川 一郎 神奈川県  
 神奈川 澄夫 神奈川県  
 神奈川 信汎 神奈川県  
 神奈川 俊之 神奈川県  
 神奈川 文彦 神奈川県  
 神奈川 護美 神奈川県  
 神奈川 美希 神奈川県  
 神奈川 信義 神奈川県  
 神奈川 千代 神奈川県  
 神奈川 惠美子 神奈川県  
 神奈川 繁光 神奈川県  
 神奈川 茂之 神奈川県  
 神奈川 裕二 神奈川県  
 神奈川 純子 神奈川県  
 神奈川 美太郎 神奈川県  
 神奈川 泰司 神奈川県  
 神奈川 徹司 神奈川県  
 神奈川 稔樹 神奈川県  
 神奈川 宏之 神奈川県  
 神奈川 智之 神奈川県  
 神奈川 三郎 神奈川県  
 神奈川 敏和 神奈川県  
 神奈川 俊紀 神奈川県  
 神奈川 剛彦 神奈川県  
 神奈川 幸仁 神奈川県  
 神奈川 栄達 神奈川県  
 神奈川 達之 神奈川県  
 神奈川 みどり 神奈川県

神奈川 邦夫 神奈川県  
 神奈川 直哉 神奈川県  
 神奈川 勝貞 神奈川県  
 神奈川 晴子 神奈川県  
 神奈川 実敏 神奈川県  
 神奈川 正次 神奈川県  
 神奈川 英次 神奈川県  
 神奈川 昭夫 神奈川県  
 神奈川 裕一 神奈川県  
 神奈川 薫 神奈川県  
 神奈川 紀子 神奈川県  
 神奈川 真也 神奈川県  
 神奈川 明弘 神奈川県  
 神奈川 桂太朗 神奈川県  
 神奈川 耿史 神奈川県  
 神奈川 一郎 神奈川県  
 神奈川 澄夫 神奈川県  
 神奈川 信汎 神奈川県  
 神奈川 俊之 神奈川県  
 神奈川 文彦 神奈川県  
 神奈川 護美 神奈川県  
 神奈川 美希 神奈川県  
 神奈川 信義 神奈川県  
 神奈川 千代 神奈川県  
 神奈川 惠美子 神奈川県  
 神奈川 繁光 神奈川県  
 神奈川 茂之 神奈川県  
 神奈川 裕二 神奈川県  
 神奈川 純子 神奈川県  
 神奈川 美太郎 神奈川県  
 神奈川 泰司 神奈川県  
 神奈川 徹司 神奈川県  
 神奈川 稔樹 神奈川県  
 神奈川 宏之 神奈川県  
 神奈川 智之 神奈川県  
 神奈川 三郎 神奈川県  
 神奈川 敏和 神奈川県  
 神奈川 俊紀 神奈川県  
 神奈川 剛彦 神奈川県  
 神奈川 幸仁 神奈川県  
 神奈川 栄達 神奈川県  
 神奈川 達之 神奈川県  
 神奈川 みどり 神奈川県

神奈川 邦夫 神奈川県  
 神奈川 直哉 神奈川県  
 神奈川 勝貞 神奈川県  
 神奈川 晴子 神奈川県  
 神奈川 実敏 神奈川県  
 神奈川 正次 神奈川県  
 神奈川 英次 神奈川県  
 神奈川 昭夫 神奈川県  
 神奈川 裕一 神奈川県  
 神奈川 薫 神奈川県  
 神奈川 紀子 神奈川県  
 神奈川 真也 神奈川県  
 神奈川 明弘 神奈川県  
 神奈川 桂太朗 神奈川県  
 神奈川 耿史 神奈川県  
 神奈川 一郎 神奈川県  
 神奈川 澄夫 神奈川県  
 神奈川 信汎 神奈川県  
 神奈川 俊之 神奈川県  
 神奈川 文彦 神奈川県  
 神奈川 護美 神奈川県  
 神奈川 美希 神奈川県  
 神奈川 信義 神奈川県  
 神奈川 千代 神奈川県  
 神奈川 惠美子 神奈川県  
 神奈川 繁光 神奈川県  
 神奈川 茂之 神奈川県  
 神奈川 裕二 神奈川県  
 神奈川 純子 神奈川県  
 神奈川 美太郎 神奈川県  
 神奈川 泰司 神奈川県  
 神奈川 徹司 神奈川県  
 神奈川 稔樹 神奈川県  
 神奈川 宏之 神奈川県  
 神奈川 智之 神奈川県  
 神奈川 三郎 神奈川県  
 神奈川 敏和 神奈川県  
 神奈川 俊紀 神奈川県  
 神奈川 剛彦 神奈川県  
 神奈川 幸仁 神奈川県  
 神奈川 栄達 神奈川県  
 神奈川 達之 神奈川県  
 神奈川 みどり 神奈川県

神奈川 邦夫 神奈川県  
 神奈川 直哉 神奈川県  
 神奈川 勝貞 神奈川県  
 神奈川 晴子 神奈川県  
 神奈川 実敏 神奈川県  
 神奈川 正次 神奈川県  
 神奈川 英次 神奈川県  
 神奈川 昭夫 神奈川県  
 神奈川 裕一 神奈川県  
 神奈川 薫 神奈川県  
 神奈川 紀子 神奈川県  
 神奈川 真也 神奈川県  
 神奈川 明弘 神奈川県  
 神奈川 桂太朗 神奈川県  
 神奈川 耿史 神奈川県  
 神奈川 一郎 神奈川県  
 神奈川 澄夫 神奈川県  
 神奈川 信汎 神奈川県  
 神奈川 俊之 神奈川県  
 神奈川 文彦 神奈川県  
 神奈川 護美 神奈川県  
 神奈川 美希 神奈川県  
 神奈川 信義 神奈川県  
 神奈川 千代 神奈川県  
 神奈川 惠美子 神奈川県  
 神奈川 繁光 神奈川県  
 神奈川 茂之 神奈川県  
 神奈川 裕二 神奈川県  
 神奈川 純子 神奈川県  
 神奈川 美太郎 神奈川県  
 神奈川 泰司 神奈川県  
 神奈川 徹司 神奈川県  
 神奈川 稔樹 神奈川県  
 神奈川 宏之 神奈川県  
 神奈川 智之 神奈川県  
 神奈川 三郎 神奈川県  
 神奈川 敏和 神奈川県  
 神奈川 俊紀 神奈川県  
 神奈川 剛彦 神奈川県  
 神奈川 幸仁 神奈川県  
 神奈川 栄達 神奈川県  
 神奈川 達之 神奈川県  
 神奈川 みどり 神奈川県

匿名60名

(2023年11月10日現在)  
50音順・敬称略



# 2023/2024 シーズン定期会員募集中

2023/2024シーズン  
日本フィルハーモニー交響楽団  
**東京定期演奏会**

会場/サントリーホール  
金曜日/19:00開演 土曜日/14:00開演

## ◆ 春季 ◆

2024 3 March	【第758回】 <b>22日(金)、23日(土)</b>	指揮:アレクサンダー・リープライヒ ヴァイオリン:辻 彩奈 三善晃:魁響の譜 シマノフスキ:ヴァイオリン協奏曲第1番 シューマン:交響曲第3番(ライン)	 ©Sammy Hart	 ©Makoto Kamiya
2024 4 April	【第759回】 <b>12日(金)、13日(土)</b>	指揮:下野 竜也 シュベルト:交響曲第3番 ブルックナー:交響曲第3番(1877年第2稿ノヴァーク版)	 ©Naoya Yamaguchi	
2024 5 May	【第760回】 <b>10日(金)、11日(土)</b>	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] マーラー:交響曲第9番	 ©Ayane Sato	
2024 6 June	【第761回】 <b>7日(金)、8日(土)</b>	指揮:秋山 和慶 ホルン:信末 碩才[首席奏者] ベルク:管弦楽のための3つの小品 R.シュトラウス:ホルン協奏曲第2番 ドヴォルジャーク:交響曲第7番 ※当初発表の内容から変更となりました	 ©堀田 カ丸	 ©吉田 タクユキ
2024 7 July	【第762回】 <b>12日(金)、13日(土)</b>	指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:米元 響子 リゲティ:ヴァイオリン協奏曲 シュベルト:交響曲第8番(ザ・グレート)	 ©Masaaki Tomitori	 ©Hirokata Onaka

<b>半季定期会員券(全5回)</b> 発売日 【春季】好評発売中
【春季】S席 ¥26,000 A席 ¥21,000 B席 ¥19,000 C席 ¥16,000 P席 ¥13,000 Ys席 ¥7,000
<b>1回券</b> 発売日 【春季】2023年12月14日(木)
S席 ¥8,000 A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,000 Ys席 ¥1,500

【お問合わせ・お申し込み】日本フィル・サービスセンター  
TEL:03-5378-5911[平日10時-17時] 日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.jp>



2023/2024シーズン  
日本フィルハーモニー交響楽団  
**横浜定期演奏会**

会場/横浜みなとみらいホール  
土曜日/17:00開演 ※7月のみ日曜日開催

## ◆ 春季 ◆

2024 3 March	【第395回】 <b>30日(土)</b>	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:神尾 真由子 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》 サン=サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》 ※当初発表の出演者から変更になりました	 ©Makoto Kamiya	 ©Makoto Kamiya
2024 4 April	【第396回】 <b>27日(土)</b>	指揮:ピアノ:横山 幸雄 ショパン:《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ ショパン:ピアノ協奏曲第2番	 ©ZIGEN	
2024 5 May	【第397回】 <b>18日(土)</b>	指揮:井上 道義 チェロ:佐藤 晴真 ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番 ショスタコーヴィチ:交響曲第10番	 ©Yuriko Takagi	 ©Tomoko Hidaki
2024 6 June	【第398回】 <b>15日(土)</b>	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:エリソ・ヴィルサラゼ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》 ※当初発表の内容から変更となりました	 ©Nikolai Puschilin	 ©Nikolai Puschilin
2024 7 July	【第399回】 <b>7日(日)</b> ※7月は日曜日の開催となります。	指揮:鈴木 優人 サクソフォン:上野 耕平* トマジ:バラード -サクソフォンと管弦楽のための* ピアノ(啼鶯編曲):《エスケアロ(鮫)》*/ 《オプリピオン(忘却)》*/《リベルタンゴ》* ベートーヴェン:交響曲第7番	 ©Marco Borggreve	 ©S.Ohsugi

<b>半季定期会員券(全5回)</b> 発売日 【春季】好評発売中
【春季】S席 ¥26,000 A席 ¥21,000 B席 ¥19,000 C席 ¥16,000 P席 ¥13,000 Ys席 ¥7,000
<b>1回券</b> 発売日 【春季】2023年12月14日(木)
S席 ¥8,000 A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 P席 ¥4,000 Ys席 ¥1,500

2023

# 第九特別演奏会



指揮：広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]

**12/16 土 17:00**  
 [横浜みなとみらいホール]  
 【第393回横浜定期演奏会】

**12/17 日 14:00**  
 [サントリーホール]

ソプラノ：竹下 みず穂 アルト：但馬 由香  
 テノール：工藤 和真 バリトン：池内 響  
 合唱：東京音楽大学(12/16)  
 日本フィルハーモニー協会合唱団(12/17)

.....  
 ケルビーニ：歌劇《アナクレオン》序曲  
 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》



指揮：小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

**12/21 木 19:00**  
 [横浜みなとみらいホール]

**12/22 金 19:00**  
 [サントリーホール]

**12/25 月 19:00**  
 [東京芸術劇場]

**12/26 火 19:00**  
 [東京芸術劇場]

**12/27 水 19:00**  
 [東京芸術劇場]

パイプオルガン：石丸 由佳  
 ソプラノ：小川 葉奈(12/21~25)  
 市原 愛(12/26、27)  
 アルト：山下 牧子  
 テノール：錦織 健(12/21~25)  
 笛田 博昭(12/26、27)  
 バリトン：大沼 徹(12/21、25)  
 青戸 知(12/22)  
 青山 貴(12/26、27)  
 合唱：東京音楽大学(12/21、22)  
 武蔵野合唱団(12/25)  
 日本フィルハーモニー協会合唱団(12/26、27)

.....  
 J.S.バッハ：  
 高き天よりわれは来たり BWV738  
 主よ、人の望みの喜びよ  
 トッカータとフーガBWV565  
 (以上3曲パイプオルガン独奏)  
 ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

チケット料金 S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000  
 (全席指定・消費税込) Ys (25歳以下) ¥3,500 Gs (65歳以上) ¥6,000 (12/16除く)

好評発売中

## Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック



<https://members.tvuch.com>

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で3カ月間何度でもご視聴いただけます(販売期間は6ヶ月です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

7月7日 東京定期演奏会

指揮：広上 淳一 カニオ：笛田 博昭 ネット：竹多 倫子 トニオ：上江 隼人 ベッペ：小堀 勇介  
 シルヴィオ：池内 響 合唱：東京音楽大学 児童合唱：杉並児童合唱団

レオンカヴァッロ：歌劇《道化師》

9月22日 さいたま定期演奏会 指揮：小林 研一郎

ブラームス：交響曲第1番

10月14日 東京定期演奏会

指揮：カーチン・ウォン メゾ・ソプラノ：山下 牧子 女声合唱：harmonia ensemble  
 児童合唱：東京少年少女合唱隊

マーラー：交響曲第3番

10月22日 名曲コンサート 指揮：カーチン・ウォン

ブラームス：交響曲第1番

12月9日 東京定期演奏会

指揮：カーチン・ウォン マリンバ：池上 英樹

外山雄三：交響詩《まつら》

伊福部昭：オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルタータ》

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番

NEXT CONCERTS  
》 次回東京定期演奏会

第 **757** 回

サントリーホール

フレトウク  
山野 雄大氏

2024年1月26日(金)19:00開演 18:30~

27日(土)14:00開演 13:20~

カーチュン・ウォンによるアジア圏特集  
今回のメインテーマは「ガムラン」

指揮: **カーチュン・ウォン**  
【首席指揮者】

ピアノ: **児玉 麻里\***

ピアノ: **児玉 桃\***

チナリー・ウン: グランド・スパイラル

コリン・マクフィー: タブー・タブーアン\*

プーランク: 2台のピアノのための協奏曲 二短調\*

ドビュッシー: 交響詩《海》

©Angie Kremer



©Carolien Sikken

1回券料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

## 次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー! カーチュン・ウォン 編

聞き手 八木 宏之

—2024年1月の第757回東京定期演奏会は、「アジア」に関連した作品が並ぶ、カーチュンさんこだわりのプログラムですね。

アジアに影響を受けたドビュッシー、プーランク、コリン・マクフィーの作品に、現代のアジアを代表する作曲家、チナリー・ウンの作品を組み合わせました。《海》の初版スコアの表紙に葛飾北斎の浮世絵「神奈川沖浪裏」が印刷されていたことからわかるように、ドビュッシーはジャポニズムに魅せられた作曲家でした。また1889年のパリ万国博覧会では、ジャワのガムランに触れて、大きな衝撃を受けています。プーランクの2台のピアノのための協奏曲とマクフィーの《タブー・タブーアン》は、どちらもバリのガムランに影響を受けて書かれた作品です。

—チナリー・ウンの《グランド・スパイラル》は、アジアのテクスチャと戦後のアメリカ音楽の語法が絶妙に混ざり合った作品ですね。

カンボジア生まれのチナリー・ウンは、1960年代からアメリカを拠点に、国際的に活躍している作曲家です。彼はカンボジアの民謡を大切にしながら、それを真の芸術作品に昇華させています。

《グランド・スパイラル》は元々コンサート・バンドのために書かれた作品ですが、のちにオーケストラ版も作られました。この作品では、一つひとつの音は大きな集団の一員として存在しています。これはファーストネームよりもファミリーネームが先に来る、個人よりも集団が重んじられるアジアの文化圏の音楽なのです。

—マクフィーの《タブー・タブーアン》は、どこかミニマル・ミュージックを思わせる不思議な魅力を持った作品です。マクフィーはどのような作曲家だったのでしょうか?

マクフィーはカナダ生まれの作曲家で、1931年から1939年までパリ島で暮らし、ガムラン音楽を現地で研究しました。マクフィー自身がガムランを演奏することもできました。1936年に作曲された2台のピアノとオーケストラのための《タブー・タブーアン》は、そうしたマクフィーの研究の集大成といえるべき作品です。この作品でマクフィーは、自分の愛するパリのガムランの響きを西洋の楽器によって再現しようと試みました。そこにはガムランに対するマクフィーの敬意が感じられます。

—プーランクのガムランに対するアプローチは、マクフィーとは異なるものなのでしょうか?

プーランクの2台のピアノのための協奏曲は、マクフィーの《タブー・タブーアン》が書かれる数年前、1932年に作曲されました。1931年にパリで開催された国際植民地博覧会で、パリのガムランに触れたプーランクは、ガムランへのオマージュを西洋音楽の手法で書いてみようと思立ちました。そうして生み出されたのがこの協奏曲です。プーランクはガムランの響きを模倣するのではなく、そのエッセンスをピアノ協奏曲に取り入れたのです。

—マクフィーとプーランクでソリストを務めるのは、児玉麻里さんと児玉桃さんです。20世紀のレパートリーを得意とするふたりの、マクフィーとプーランクの演奏には大いに期待が高まります。

児玉麻里さんと桃さんの演奏はとても誠実で、音楽には深い抒情性が感じられます。おふたりは姉妹ですが、全く異なる個性を持ったピアニストですね。けれども、軽やかなタッチには共通する美意識も感じられ、それがプーランクの音楽にぴったりなのです。おふたりとの初共演が、いまから楽しみで仕方ありません!

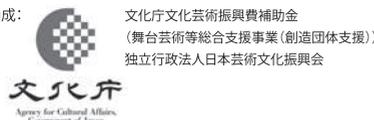
—ドビュッシーの《海》は今回のプログラムのなかで、もっともよく知られている作品です。カーチュンさんの《海》を楽しみにしている日本フィルのファンも多いかと思います。

ドビュッシーがいま、もし生きていたら、ポケモンカードに夢中になったり、コミケに熱狂したりしたかもしれません。しかし、ドビュッシーが生きた時代には漫画やアニメ、ゲームはありませんでしたから、彼は浮世絵をはじめとする日本の美術品を蒐集しました。

第3楽章《風と海との対話》は、北斎の描いた相模湾の波を強く思い起こさせます。私はドビュッシーが《海》を完成させた、イギリス南部の海沿いの街、イーストボーンを訪れたことがあるのですが、この波は非常に穏やかでした。ドビュッシーはドーバー海峡を眺めながら、浮世絵のなかの日本の海に想いを馳せていたのかもしれませんが。また第1楽章《海上の夜明けから真昼まで》では、ジャワのガムラン音楽からの影響を感じさせるオリエンタルなメロディも聴こえてきます。

今回のプログラムにはコンパクトな作品が並んでいますので、祭りの始まりに聞こえてくる雅楽にそっと耳を傾けるように、リラックスして演奏会を楽しんでいただけたら嬉しいです。

助成:



● もうすぐ発売

2023年12月13日(水) 発売
第253回芸劇シリーズ
2024年3月10日(日) 17:00開演
東京芸術劇場
指揮:鈴木 織衛
出演: SUPER BRASS STARS
和泉宏隆(エリック・ミヤシロ編曲):宝島 他
SS¥7,000 S¥6,000 A¥4,500 B¥4,000
C¥3,000 Gs¥3,000 Ys¥1,500

2023年12月14日(木) 発売
2023/2024春季東京定期演奏会 1回券
2023/2024春季横浜定期演奏会 1回券
詳細はP28-29をご覧ください。

2024年1月19日(金) 発売
第254回芸劇シリーズ
2024年4月28日(日) 14:00開演
東京芸術劇場
指揮・ピアノ:横山 幸雄
シヨパン:《ドン・ジョヴァンニ》の
「お手をどうぞ」の主題による変奏曲
シヨパン:アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ポロネーズ
シヨパン:ピアノ協奏曲第2番
SY¥7,000 AY¥5,500 BY¥5,000 C¥4,000
Gs¥4,000(65歳以上) Ys¥1,500(25歳以下)

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ
指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54~23:00(第3週、第4週は再放送) ぜひご覧ください!12月は山田和樹、1月からはカーチュン・ウォンが登場!

● 定期会員券ご購入のお願い
お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。
11月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。(50音順・敬称略) 匿名5名
ご寄付の方法
ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターに
お電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL: 03-5378-5911(平日10時~17時) FAX: 03-5378-6161(24時間) E-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

● 好評発売中

2023/2024春季東京定期演奏会 会員券
2023/2024春季横浜定期演奏会 会員券
詳細はP28-29をご覧ください。

2023/2024春季セット券
詳細はP17をご覧ください。

コバケン・ワールドVol.36
2024年3月17日(日) 14:00開演
サントリーホール
指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
フルート:真鍋 恵子[首席奏者]
ドビュッシー:小組曲
モーツァルト:フルート協奏曲第2番
ベルリオーズ:幻想交響曲
SY¥6,800 AY¥5,300 BY¥4,200 P¥3,200
Gs¥4,500 Ks¥1,500

● 定年のお知らせ
第2ヴァイオリンの山田千秋が2023年11月20日に定年を迎えました。山田は1985年6月に入団し、ヴァイオリン・セクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き囁託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

■ プレトーク「本日の聴きどころ」
金曜日 18:30~ 土曜日 13:20~
東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は作曲家・東京音楽大学特別アドバイザー藤田崇文氏です。

● 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。
携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はご控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。



Table with conductor and principal players information: 創立指揮者 渡邊 暁雄, 首席指揮者 カーチュン・ウォン, etc.

Table with instrument and player information: ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋, ヴィオラ 安達 真理, etc.

Table with instrument and player information: ソロ・チェロ 門脇 大樹, コントラバス 鈴木 一志, etc.

Table with instrument and player information: ホルン 伊藤 舜, ソロ・トランペット オッタビアーノ・クリストフオリ, etc.

Table with instrument and player information: トロンボーン 伊藤 雄太, パス・トロンボーン 中根 幹太, etc.

Table with instrument and player information: 楽団長 中根 幹太, チーフステージマネージャー 阿部 紋子, etc.

Table with board and staff information: 理事長(代表理事) 平井 俊邦, 副理事長(代表理事) 五味 康昌, etc.

Table with board and staff information: 名誉顧問 熊谷 直彦, 名誉顧問 島田 晴雄, etc.

Table with board and staff information: コミュニケーションディレクター マイケル・スベンサー, マネジメント・スタッフ 浅見 浩司, etc.

Table with board and staff information: 団友: 青柳 哲夫, 青山 均, 赤堀 泰江, etc.

チケットお申込・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(平日10時~17時)

eチケット▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

公式 X(旧Twitter)  
@Japanphil

LINE 公式アカウント



日本フィル公式YouTube ▶ YouTube

「5分でわかる!  
大人のためのオーケストラ入門」

毎月10日・20日にお届け/



「Welcome クラシック」  
毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!